

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜北高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月25日(月) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜北高等学校 英知館2階 校長室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
- |     |        |                   |
|-----|--------|-------------------|
| 会長  | 村瀬 忍   | 岐阜大学教授            |
| 副会長 | 井藤 毅   | P T A会長           |
| 会員  | 小川 翔三  | 岐阜青年会議所理事         |
|     | 可児 さおり | 保護司(早田自治会)        |
|     | 澤井 隆彰  | キャリアコンサルタント       |
|     | 高橋 信明  | 則武自治会連合会長         |
|     | 古田 菜穂子 | 同窓会代表(北斗会顧問) (欠席) |
| 学校側 | 上田 和伸  | 校長                |
|     | 若原 稚子  | 事務部長              |
|     | 籠橋 美和子 | 教頭                |
|     | 三浦 昇太郎 | 教頭                |
|     | 小枝 千穂  | 教務主任              |
|     | 坪内 有美子 | 進路指導部長            |
|     | 杉山 忠弘  | 生徒指導部長            |
|     | 山田 雄太  | カリキュラムデザイン(CD)部長  |

## 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画  
(2) 各分掌 方針と重点

意見1: 本校の探究学習は、年々レベルが高くなってきている。地域の企業やさまざまな分野で活躍している方々とのつながりの中で、生徒が社会について深く学んでいる。探究学習を通して自分の興味関心や価値観を見つめ直し、進路指導やキャリア教育とも連動していくことが望ましい。本日の授業参観でも、保健体育の授業でライフプランを考える内容が扱われており、自分自身の高校時代にはなかった視点で、キャリア教育が確実に取り入れられていることを実感した。

意見2: 授業参観では、暑い中、生徒が一生懸命取り組んでいる様子が印象的だった。最近気温の変化が大きく、体調管理も大変である。扇風機の設置やポロシャツでの授業など、気候に応じた柔軟な対応がされているのは、よい取り組みだ。  
⇒「スクールカジュアル」の考え方のもと、ポロシャツの導入を行って3年目

となり、早い時期から多くの生徒が着用している。学校への帰属意識を重視する制服着用期間と、生徒が主体的に判断して場にふさわしく快適な服装を選ぶ服装選択制の期間を設けている。

意見 3 : 授業参観では、生徒がしっかり授業に向き合っており、大変よい雰囲気だった。生徒の方から挨拶をしてくださる場面もあり、うれしく感じた。

意見 4 : 現在の小中学校では、一斉授業の形は減り、グループで話し合いながら課題に取り組む学びのスタイルが主流となっている。本日の授業では、まだ従来型の授業形態が多かった。小中学校からの学びの接続を意識し、高校段階で生かしていくとよい。

意見 5 : 授業中、タブレットを使った調べ学習や、デジタル機器を使った発表の場面があまり見られなかった。ICT活用を広げる必要がある。

⇒デジタル化と従来の学びをどのように融合させていくかは、今後の大きな課題だ。スキルとしてのデジタル活用能力が必要である一方で、人間力については、デジタルだけでは十分に育ちにくい面もある。デジタルの活用によって得られる学びと、人と人との関わりの中で育まれる力の両方をバランスよく育てていく、その「さじ加減」が今後ますます重要になると考えている。

意見 6 : 春先は自転車通学の生徒がまだ交通ルールに十分慣れておらず危険だ。学校ではどのような指導を行っているのか。

⇒自転車通学や公共交通機関の利用に関するルールや、危険個所について示した「ルールブック」を生徒会と連携して作成し、生徒に配付している。今年度は青切符という新たな制度の導入もあり、改めて通学時のマナーについて生徒に周知する必要がある。委員会、MSリーダーズの活動で、生徒が実際に通学路を確認し、内容をブラッシュアップする予定である。

意見 7 : 自治会では、若い力を借りながら地域を盛り上げる取組みを進めている。生徒には、夏祭りのオープニング行事や催しを手伝ってもらっている。これまでと違う新しい視点や活気が加わり、スタッフも大変助かると同時に組織全体が大きく変化してきた。自治会は多くが高齢者だが、長い人生経験の中で培ってきた知識や知恵があり、若い世代に対して何らかの形で役立てることができる。地域をよりよく、明るくしていくという思いは共通しており、学校と地域が連携しながら子どもたちの成長を支え、地域の新しい景色を、皆で一緒につくっていききたい。

意見 8 : 二人担任制について、教員数は十分に確保できているのか。また、非常に効果があるという話だが、負担に感じている教員もいるのではないのか。

⇒現在すべてのクラスで二人担任制とし、教職員配置ができている。教職員の負担の平準化とともに、生徒にとってより良い支援体制を構築することを目的として導入した。これまで担任を持つ機会が少なかった教職員にとっても、生徒と近い距離で関わる機会が得られ、二人が協力しながら概ね良好に運用できている。まだ導入して間もなく、今後一年間を通して検証を重ねながら、より良い形にしていきたい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の教育指導の重点及び学校経営計画、各分掌の方針と重点について学校職員から説明したうえで協議を行い、承認が得られた。

協議では、授業の様子や本校の取組みについての期待や意見が数多く寄せられた。本会議をふまえ、目標の達成をめざして教育活動ならびに学校経営を実践したい。